

令和7年度 第三者評価事業 啓発研修

第三者評価を受審して
「受審の流れと実際、改善に向けた取り組みについて」

静岡県 健康福祉部
福祉長寿局 福祉指導課 法人児童指導班

目次

contents

- 1 施設紹介
- 2 第三者評価を受審して
- 3 これから第三者評価の受審を検討して
いる方へのメッセージ

1 施設紹介



社会福祉法人

恩賜財団 静岡県済生会

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

特別養護老人ホーム 小鹿なでしこ苑



施設長 増田信 様

特別養護老人ホーム 小鹿なでしこ苑

- 施設種別 特別養護老人ホーム
- 住所 静岡県静岡市駿河区小鹿402-1
- 開設 2012年
- 定員 96名(長期) ショートステイ4床
- 特徴 ユニット型 一部屋4人の多床室
- 理念
「私が私らしく あなたがあなたらしく」

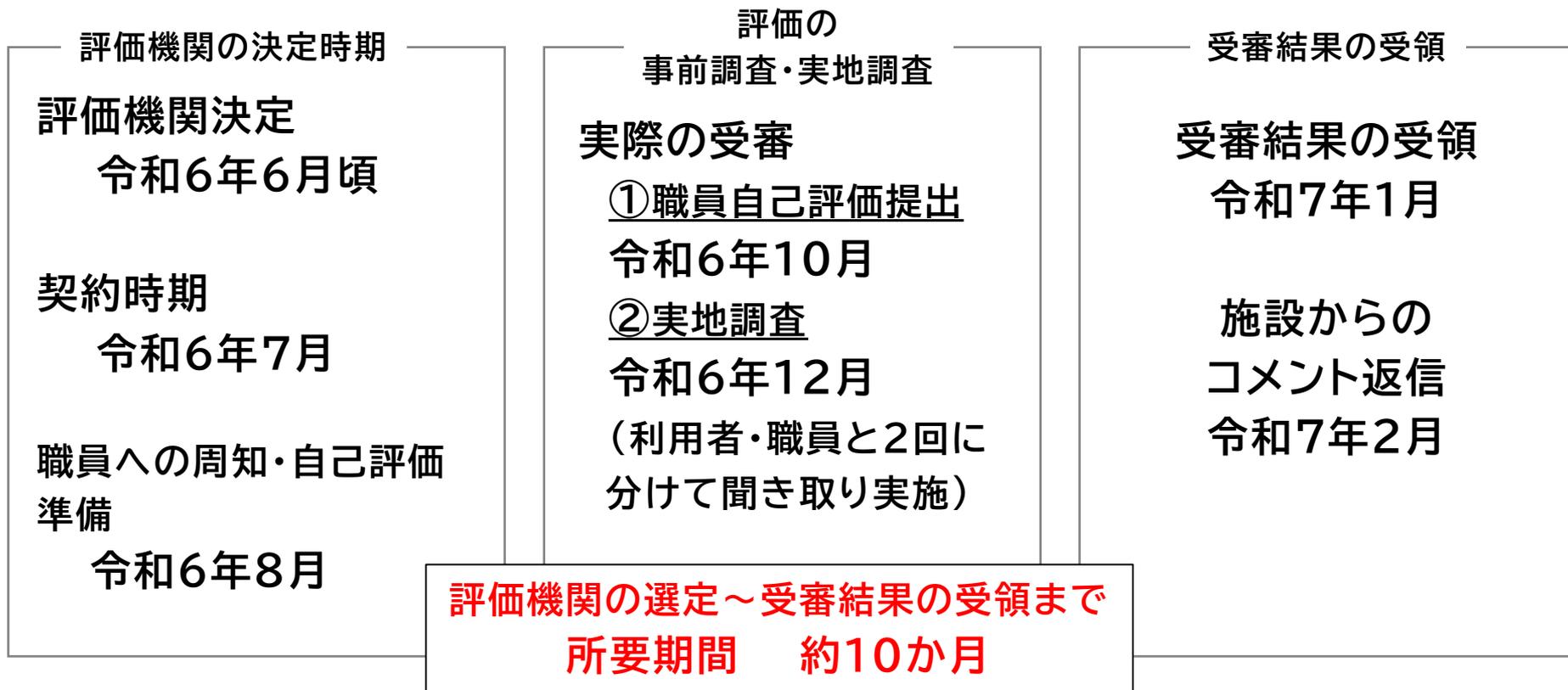
2 第三者評価を受審して

今回の第三者評価の受審は初めてですか。

回答

**施設として、初めて第三者評価を受審しました。
(令和6年度受審)**

評価機関の決定、評価日程の確定、そして受審結果の受領までにどのくらいの期間がかかりましたか。



実地 二日間の総所要時間 約12時間

利用者ヒアリング

時間 10:00~15:00

- ・指名された方へのヒアリング
(聞き取りができるかどうか関係なし)
- ・一人あたり15分~20分程度
- ・対応はゆっくり丁寧

職員ヒアリング

時間 9:00~16:30(終了は17:00頃)

- ・職員ヒアリングは朝から夕方まで実施。

受審されて、特に良かった点を具体的にお教えてください。

施設の改善すべき点について「見える化」と「情報共有」ができたこと

STEP1 現状を評価される → 改善すべき点が具体化



STEP2 職員の目線 → 施設の現状をみなおすきっかけ



STEP3 管理職の目線 → 職員が施設の運営方針や事業計画、理念をどこまで理解しているか把握できた。



STEP4 何が足りないのか現場職員と管理者相互理解の上で目指すべき方向性を共有
→ 施設運営改善へつながるアクションができた。

★調査員からのアドバイス

- ・施設の地域性や職員構成を踏まえた具体的な改善提案があった。

事前準備

書類準備

- ・書類のボリューム大
- ・他施設での受審した事例を参考に
- ・事務部門と現場部門で手分けして準備

職員への周知

- ・自己評価シートの準備
- ・正職員以外にパート職員への第三者評価受審の意義、理解を進めるため説明会を複数回実施
- ・資料提出に余裕を持つために準備期間を長めに設定
- ・パート職員には準備のための時間外を認める(30分程度)

課題

- 準備する書類のボリュームからの負担感は否めない。
- 用意したものが調査者が求めているものと合致しているか？

受審した結果は、貴施設内でどのように活用していますか。

管理者として

新たな学びの機会 現場へのフィードバック

- ・法人の理念の浸透や職員への事業計画の周知の必要性を認識
- ・法人と職員のつなぎ役としての管理者の役割の実践
- ・働きやすく長く勤めて貰う職場環境の整備を進める。

現場実務

合い言葉は まずはやってみよう！ 求められる役割を再認識

- ・個人の役割分担を明確化
- ・効率化の推進(サーバーの整理、紙の電子化)
- ・部門間での連携強化



質の高い
福祉サービスを提供

対外的なPR

- ・SNSを利用した情報公開

施設の取組
各種イベント
委員会の取組状況

3 これから第三者評価の受審を検討している 方へのメッセージ

今後第三者評価の受審を検討されている他の法人や施設の皆様へのメッセージ

第三者評価は結果が出るまで時間がかかるかもしれませんが、第三者評価を受審することは施設を変えるきっかけになります。

例えば、施設の経営や運営方針を見直すきっかけ、施設や法人と職員の結びつきを見直すきっかけ、業務を見直すきっかけ、生産性を向上させる取組を見直すきっかけ等、いろいろ考えられます。

確かに、時間と手間はかかりますが、手間と時間をかけた分、相応の得るものもあります。

ぜひ第三者評価を受審してみてください。

- 動画を最後までご覧いただきありがとうございますございました。
- 広く皆様のご意見を伺いたいたため、動画をご覧いただいた後に、アンケートへのご協力をお願いします。